

1月17日は「防災とボランティアの日」

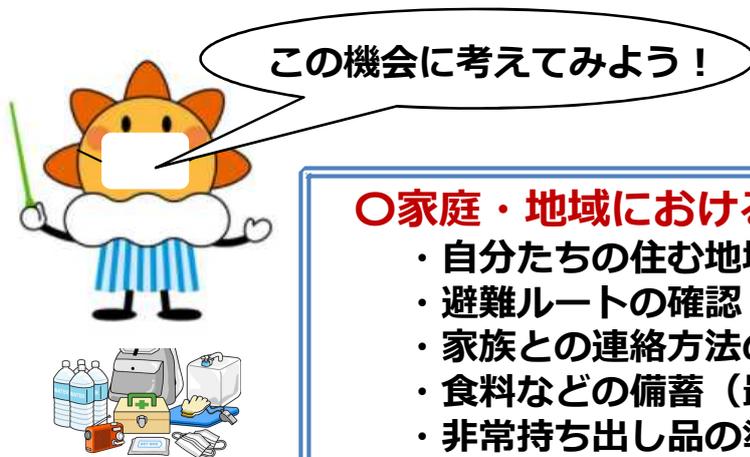
～1月15日から1月21日までは『防災とボランティア週間』～

「防災とボランティアの日」と「防災とボランティア週間」は、平成7年（1995年）1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」を契機に制定されました。政府、地方公共団体などの防災関係機関をはじめ、広く国民が災害時におけるボランティア活動及び自主的な防災活動への認識を深めることを目的に普及啓発活動を行っています。

この機会に、災害時のボランティア活動や自主的な防災活動への理解を深め、ひとりひとりが自ら行動しお互いが助け合う安全・安心な地域づくりについて考えてみてはいかがでしょうか。



阪神・淡路大震災（震度7の地域）
4階がつぶれたビル



○家庭・地域における災害に対する備え

- ・自分たちの住む地域などのリスクを確認
- ・避難ルートの確認
- ・家族との連絡方法の確認
- ・食料などの備蓄（最低3日）
- ・非常持ち出し品の準備
- ・地域で行われる防災訓練への参加

防災力を高めるためには、日ごろからの備えと、家族や地域とのコミュニケーションが大切です。

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<https://www.data.jma.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先：宮古島地方気象台 TEL:0980-72-3054(平日のみ/8:30～17:15)

